募集

滋賀県障害者スポーツ大会出場選手

〈内容〉左の表のとおり 〈対象〉市内に在住する13歳以上の人で、身体障害者手帳を持つ人、療育手帳を持つかその取得に準ずる障害のある人 ※一部の競技には障害の種類によって参加できないものがあります。〈参加料〉無料。ただし、昼食代、交通費は実費負担の場合があります。ボウリング競技の貸靴代は、実費負担になります。〈問い合わせ先〉㊐障害福祉課☎27-9981番、FAX26-1767番

競技	開催日・場所	申込締切日
陸上	5月20日㈰ 皇子山総合運動公園 陸上競技場(大津市)	4月11日㈬
ボウリング	7月29日㈰ 大津ボウル(大津市)	6月20日㈬
水泳	8月26日㈰ ㊐障害者福祉センター(草津市)	7月18日㈬
アーチェリー	9月16日㈰ ㊐障害者福祉センター(草津市)	8月8日㈬
フライングディスク	9月30日㈰ ㊐長浜ドーム(長浜市)	8月22日㈬
卓球	10月28日㈰ 草津市立総合体育館(草津市)	9月19日㈬

学校を利用した5つの講座

平成24年度教室開放事業

㊐教育委員会では、地域住民のコミュニティ活動の促進や、地域文化の創造を図り、開かれた学校を目指して、小・中学校を利用して、学校の持つ施設や機能を生かした講座を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

講座名(回数・定員)	会場の小・中学校	募集期間	開催期間	内容と対象	受講料
鳴鶴書道手習始(全8回、各回20人)	城南	4月2日㈪～同13日㈮	5月12日㈯～6月30日㈯ 毎週土曜日 10:00～12:00	**内容** 日下部鳴鶴の書に親しみながら、毛筆の基本的な筆遣いを学びます。 **対象** 毛筆の基礎から丁寧に学習したい、小学3年生以上の人 **講師** 日下部鳴鶴顕彰会会長 小林 巧さん ほか	1,600円(中学生以下は無料) 半紙代が別途必要
	旭森	6月1日㈮～同15日㈮	7月14日㈯～9月1日㈯ 毎週土曜日 10:00～12:00		
	河瀬	9月3日㈪～同14日㈮	10月20日㈯～12月15日㈯ 毎週土曜日 10:00～12:00 (11月24日は除く)		
もしもピアノが弾けたなら(全8回、各回10人)	城陽	4月2日㈪～同13日㈮	5月10日㈭～6月28日㈭ 毎週木曜日 18:30～20:00	**内容** 選んだ1曲を仕上げ、互いの演奏を聴きます。 **対象** ピアノ経験のない、小学生以上の人 **講師** 地域在住講師	1,600円(中学生以下は無料) テキスト代1,000円別途必要
	佐和山	8月1日㈬～同15日㈬	9月13日㈭～11月1日㈭ 毎週木曜日 18:30～20:00		
初心者のための水彩画(全6回、各回20人)	若葉	8月20日㈪～同31日㈮	9月29日㈯～11月10日㈯ 毎週土曜日 10:00～12:00 (10月27日は除く)	**内容** デッサンや水彩画の基礎を身につけ絵をかく楽しさを味わいます。 **対象** デッサンや水彩絵の具の使い方の基礎を学習したい、小学3年生以上の人 **講師** 眞野 康洸さん	1,200円(中学生以下は無料) 画用紙代100円別途
はじめてのパソコン(全7回、各回20人)	鳥居本中学校	6月15日㈮～同29日㈮	7月23日㈪～8月20日㈪ 毎週月・木曜日 10:00～12:00 (8月13、16日は除く)	**内容** パソコンの基本的な操作や、簡単な文書の作成の仕方、インターネットの使い方を学びます。 **対象** パソコン初心者で中学生以上の人 **講師** パソコンインストラクター	1,400円(中学生以下は無料) 材料費1,000円が別途必要
作って楽しむパソコン(全7回、各回20人)	西中学校	6月15日㈮～同29日㈮	7月24日㈫～8月21日㈫ 毎週火・金曜日 10:00～12:00 (8月14、17日は除く)	**内容** パソコンの機能を生かし、名前シールやはがきなどを作ります。 **対象** 小学3年生以上の人 **講師** パソコンインストラクター	

募集期間 上の表のとおり(上の表の　　の講座には、4月2日㈪から申し込みを受け付けます)
※各募集期間の最終日の消印有効
申込方法 往復はがきの往信の裏に郵便番号、住所、氏名、ふりがな、年齢(小・中学生は学年)、電話番号、希望講座、会場校を、返信の表に郵便番号、住所、氏名を書いて、㊐教育委員会生涯学習課に申し込んでください。
※応募者多数の場合は抽選。
申込・問い合わせ先 ㊐教育委員会生涯学習課(〒522-0001 尾末町1-38)☎24-7974、FAX23-9190

お知らせ 広報ひこね3月15日号5ページ「短期在留外国人の脱退一時金制度」内の「年金のための二国間協定」の対象国に、「ブラジル」「スイス」が追加されました。

連載企画 -わたしの町の戦国 第21回-

日夏城 - 日夏氏ゆかりの詰城 -

日夏の条里地割と日夏荘

日夏の周辺は、整然と碁盤目に区画された条里地割が良く残っています。条里地割は古代から中世にかけて行われた土地区画制度に基づく地割で、縦横の一辺を109メートルに区画する大事業でした。

文和2年(1353)の記録では、この頃、日夏の地は日夏荘と呼ばれた梶井宮門跡(※1)(のちの三千院門跡)の荘園であり、その後、応永14年(1407)頃までは公家の山科家の荘園であったことが知られます。

日夏氏

日夏氏の出自(ルーツ)は明確ではありません。もともと日夏荘の現地管理を委ねられた荘管であったと推測されますが、しだいに日夏の地を本拠として土豪(※2)化し、城を築いて戦国大名に従うようになったのでしょう。『江州佐々木南北諸士帳』(※3)には、「日夏庄泉城主 佐々木随兵 日夏越前守」と記されています。

地元に残る古文書には、永禄2年(1559)の「肥田城の水攻め」や、翌年の「野良田表の合戦」に勝利した浅井長政の重臣磯野員昌が、その勢いで六角方の日夏氏を攻めましたが、首尾よく抗戦して難を逃れたこと。その後、浅井長政の配下となった日夏氏は、元亀4年(1573)の織田信長による小谷城総攻撃により、浅井一族とともに討死し、やがて日夏城も没落したことなどが記されています。

日夏城とその城下

こうして廃墟となった日夏城ですが、現在もその城跡を確認することができます。荒神山から北へ伸びる尾根の先端近く、唐崎神社の奥には、図のような3つの曲輪と堀切・土塁などで構成される全長110メートル余りの城跡が存在しますが、この城跡が日夏城と想定されています。

日夏氏は、戦時にはこの城を詰城として戦に備えましたが、平時には城下の居館で生活していました。居館の位置はいまだ明確ではありませんが、城下の一端が発掘調査によって明らかになっています。宇曽川右岸の妙楽寺遺跡(泉古屋敷遺跡)と左岸の古屋敷遺跡です。妙楽寺遺跡からは15世紀末から16世紀後半を主体とする集落が、また古屋敷遺跡でも14世紀から16世紀中頃の集落が発見されました。中でも妙楽寺遺跡の集落は、条里地割に沿った水路や道路が整然と短冊形に区画され、区画内は小溝や塀によってさらに小さく区画して屋敷を構えていました。水路は石組みの護岸とし、要所に石組みの階段を備えた舟入を設けていました。

発掘調査では多量の貿易陶磁(※4)が出土しており、船を利用して商業に従事した「まち」の姿が想定されています。当時、日夏に近い薩摩や八坂では、「五箇商人」(※5)が活躍していました。当集落の人々も、琵琶湖や宇曽川を利用して五箇商人に準じた商業活動を行っていたと推測され、それを采配していたのは他でもない日夏氏の可能性が考えられます。

妙楽寺遺跡・古屋敷遺跡とも16世紀末になると急速に衰退したようですが、それは先述の日夏氏の没落とも関連したものであったのでしょう。

▶日夏城縄張図 『滋賀県中世城郭分布調査5』より

▲日夏城跡

※1 皇族や貴族が住職を務める特定の寺院。
※2 土着の豪族。
※3 佐々木一族が近江を支配した中世に、近江に存在した城名と城主名を列挙したもの。
※4 中国など海外から輸入された陶磁器。
※5 若狭方面で活躍した薩摩・八坂・小幡・田中江・高島南市の商業集団。

問い合わせ先 ㊐教育委員会文化財課☎26-5833番、FAX26-5899番

㊐教育委員会文化財課では、地域に埋もれた文化財資料を探しています。ご存じであれば、ご連絡ください。